



画面テンプレートの使い方

MOTIF XSをV1.50以降にバージョンアップすると、画面テンプレートを使って、MOTIF XSの画面デザインを変更できます。ヤマハは複数の画面テンプレートを提供しています。これらを使うには、ネットワーク接続のファイル共有機能を利用するか、USBフラッシュメモリーを利用する必要があります。各手順に従って画面テンプレートを使い、MOTIF XSの画面デザインを変更してみましょう。

目次

ネットワーク接続を利用する方法	2
MOTIF XSとコンピューターとをLAN接続する	2
ネットワークの設定をする	2
MOTIF XS側の設定.....	2
コンピューター側の設定.....	3
Windows XPの場合.....	3
Mac OS X 10.5 (Leopard)の場合.....	5
Mac OS X 10.4 (Tiger)の場合.....	7
画面テンプレートをMOTIF XS上にコピーする	8
画面デザインを元に戻す	9
USBフラッシュメモリーを利用する方法	10
画面テンプレートのご利用制限について	10

ご注意

- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータおよび各種コンテンツデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この画面テンプレートおよびマニュアルの著作権はすべてヤマハ株式会社所有します。
- この画面テンプレートおよびマニュアルの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- この画面テンプレートおよびマニュアルを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ファームウェアのバージョンアップに伴うソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更、または画面テンプレートデータの変更や追加については、別途ご案内させていただきます。
- このマニュアルに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MacまたはMacintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

ネットワーク接続を利用する方法

MOTIF XSのネットワーク接続によるファイル共有機能を用いて、画面テンプレートを使ったMOTIF XSの画面デザインの変更ができます。以下の手順に従って、画面デザインを変更してみましょう。

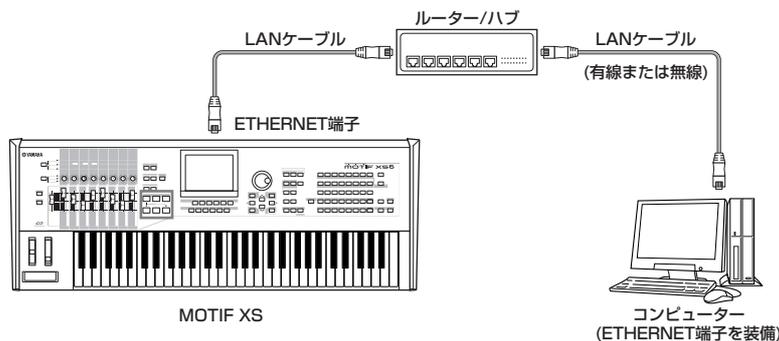
NOTE 以下の設定をする前に、MOTIF XSをV1.50以降にバージョンアップしておいてください。バージョンアップについて詳しくは、以下のURLをご覧ください。

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/dl/synth/motifxs/>

MOTIF XSとコンピューターとをLAN接続する

市販のLANケーブルを使って、MOTIF XSのETHERNET端子とコンピューターのETHERNET端子を、下図のようにLAN接続されたルーターやハブを経由して接続します。

本体とルーター/ハブとの間は、有線(LANケーブル)で接続してください。



NOTE LANケーブルは、ストレートケーブルをご利用ください。

NOTE コンピューターにETHERNET端子がない場合は、市販のLANアダプターをコンピューターのPCIスロットやPC Cardスロットなどに挿入します。

NOTE ご家庭にブロードバンドルーターがある場合は、ETHERNET端子の空きがあればお使いいただけます。ただし、MOTIF XSをブロードバンドルーターに接続しても、インターネットには接続できません。

ネットワークの設定をする

本体とコンピューターとの物理的な接続が完了したら、次にネットワークの設定を行ないます。ネットワークの設定は、いわばソフト的な接続にあたり、この設定が違っていると物理的に接続されていてもアクセスはできません。ネットワークの設定を行なうと、MOTIF XSと同じネットワークに接続されているコンピューターとの間で、ファイルのセーブやロードができるようになります。

MOTIF XS側の設定

1. ユーティリティーモードのネットワーク設定画面を開きます。

[UTILITY]ボタンをしてユーティリティーモードに入り、[F1] Generalボタンを押したあと、[SF3] Networkボタンを押して、ネットワーク画面を表示します。

2. [SF5] Passwordボタンを押して、コンピューターからMOTIF XSにアクセスするためのパスワードを設定します。

[SF6] CHARボタンを押して文字入力画面を表示させ、パスワードを入力します。パスワードは5文字～8文字で設定してください。文字の入力方法について詳しくは、MOTIF XS6/7/8取扱説明書の82ページをご覧ください。

パスワードの入力が終わったら、[ENTER]ボタンを押してパスワード入力画面を閉じます。

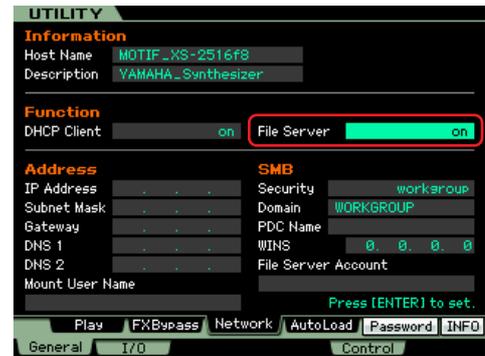


3. 「File Server (ファイルサーバー)」を「on」に設定します。

コンピューターからMOTIF XSに「nobody」というアカウント名でアクセスできるようになります。

NOTE 「File Server Account (ファイルサーバーアカウント)」でアカウント名を設定することもできます。

4. [ENTER]ボタンを押して、ネットワーク設定を確定します。また、必要に応じて[STORE]ボタンを押して設定を本体に保存します。

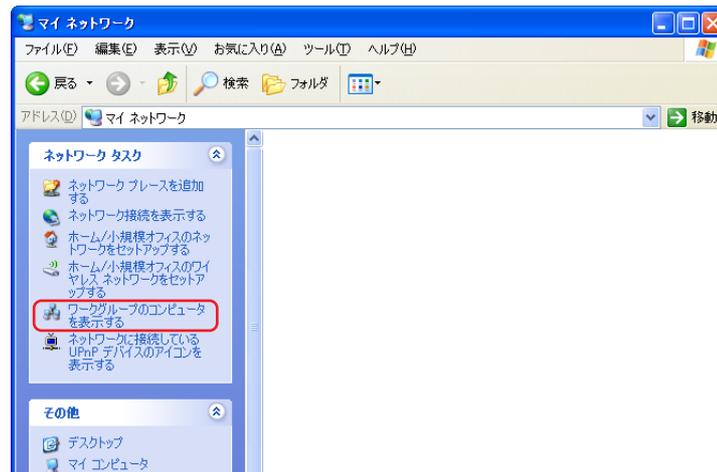


コンピューター側の設定

NOTE お使いのコンピューターの設定によっては、画面上の表示などが異なる場合があります。

Windows XPの場合

5. コンピューターの「マイネットワーク」を開き、さらに「ワークグループのコンピューターを表示する」をクリックします。



NOTE コンピューターのワークグループ名がMOTIF XSで設定されているドメイン名(「Domain」)と異なる場合は、「Microsoft Windows Network」を開き、MOTIF XSで設定されているドメイン名のグループを開きます。MOTIF XSのドメイン名(「Domain」)は、ユーティリティーモードのネットワーク画面でご確認ください。

6. 「YAMAHA_Synthesizer (Motif_xs-2516f8)」を開きます。

「YAMAHA_Synthesizer (Motif_xs-2516f8)」は、「Host Name」を「MOTIF_XS-2516f8」、「Description」を「YAMAHA_Synthesizer」に設定している場合の名称になります。

7. 「MOTIF XS側の設定」で設定したユーザー名(アカウント名)とパスワードを入力します。

アクセスしたMOTIF XSの画面データ(「theme」)と接続されているUSB記憶装置のデータ(「media」)が表示されます。

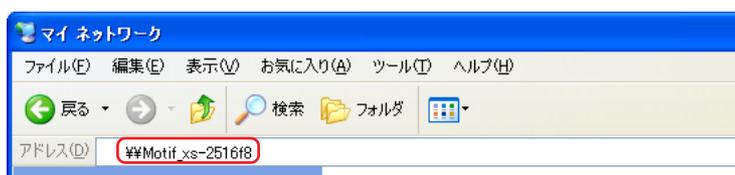


ホスト名を入力してMOTIF XSにアクセスする方法

上記の方法でMOTIF XSにアクセスできない場合は、MOTIF XSに設定されているホスト名(「Host Name」)を直接アドレスとして入力してアクセスすることもできます。コンピューター上のブラウザのアドレスバーに、「¥¥」に続けて、MOTIF XSのホスト名を入力します。

たとえば、ホスト名が「MOTIF_XS-2516f8」の場合、アドレスバーに「¥¥MOTIF_XS-2516f8」と入力します。

NOTE MOTIF XSのホスト名については、ユーティリティモードのネットワーク画面でご確認ください。



Mac OS X 10.5 (Leopard)の場合

5. メニューバーの「移動」→「サーバーへ接続…」をクリックします。

「サーバーへ接続」画面が表示されます。

6. [ブラウズ]ボタンをクリックします。

ネットワーク画面が表示されます。

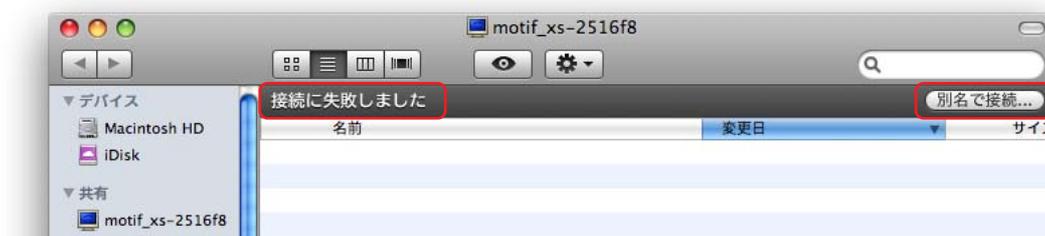
7. 画面のリストに表示されているMOTIF XSのホスト名をクリックします。

たとえばホスト名(「Host Name」)が「MOTIF_XS-2516f8」の場合、「motif_xs-2516f8」をクリックします。

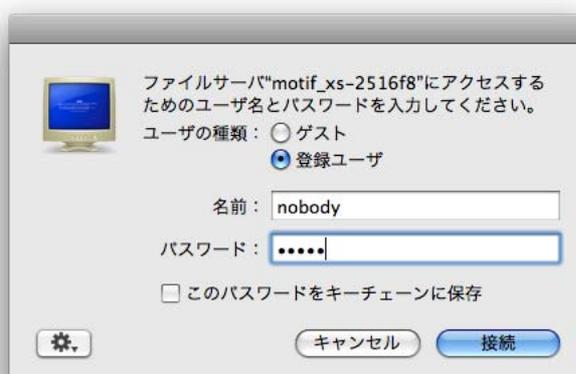


NOTE 画面に「motif_xs-*****」が表示されない場合は、後述の「ホスト名を入力してMOTIF XSにアクセスする方法」をご覧ください。

8. 「接続に失敗しました」と表示された場合は、[別名で接続…]ボタンをクリックします。



9. 「MOTIF XS側の設定」で設定したユーザー名(アカウント名)とパスワードを入力し、[接続]ボタンをクリックします。



10. MOTIF XSにアクセスし、画面上にMOTIF XSの画面データ(「theme」フォルダ)と、MOTIF XSに接続されているUSB記憶装置のデータ(「media」フォルダ)が表示されます。



ホスト名を入力してMOTIF XSにアクセスする方法

上記の方法でMOTIF XSにアクセスできない場合は、MOTIF XSに設定されているホスト名(「Host Name」)を直接アドレスとして入力してアクセスすることもできます。

1. コンピューター上のメニューバーの「移動」→「サーバーへ接続」をクリックします。

「サーバーへ接続」画面が表示されます。

2. 「サーバーアドレス」欄に、「smb://」に続けてMOTIF XSのホスト名を入力し、[接続]ボタンをクリックします。

たとえばホスト名が「MOTIF_XS-2516f8」の場合、「smb://MOTIF_XS-2516f8」と入力します。

NOTE MOTIF XSのホスト名については、ユーティリティーモードのネットワーク画面でご確認ください。



3. 「MOTIF XS側の設定」で設定したユーザー名(アカウント名)とパスワードを入力し、[接続]ボタンをクリックします。

4. マウントするボリュームとして「theme」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

MOTIF XSの画面データのフォルダ(「theme」フォルダ)にアクセスします。



Mac OS X 10.4 (Tiger)の場合

5. 「Finder」を開き、さらに「ネットワーク」を開きます。
「MOTIF_XS」が表示されます。
6. 「MOTIF_XS」をダブルクリックします。
7. SMB/CIFS共有ボリュームとして「theme」を選択し、[認証]ボタンをクリックします。
「SMB/CIFS ファイルシステムの認証」画面が表示されます。
8. 「MOTIF XS側の設定」で設定したドメイン、ユーザー名(アカウント名)、パスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。
MOTIF XSの画面データのフォルダ(「theme」フォルダ)にアクセスします。



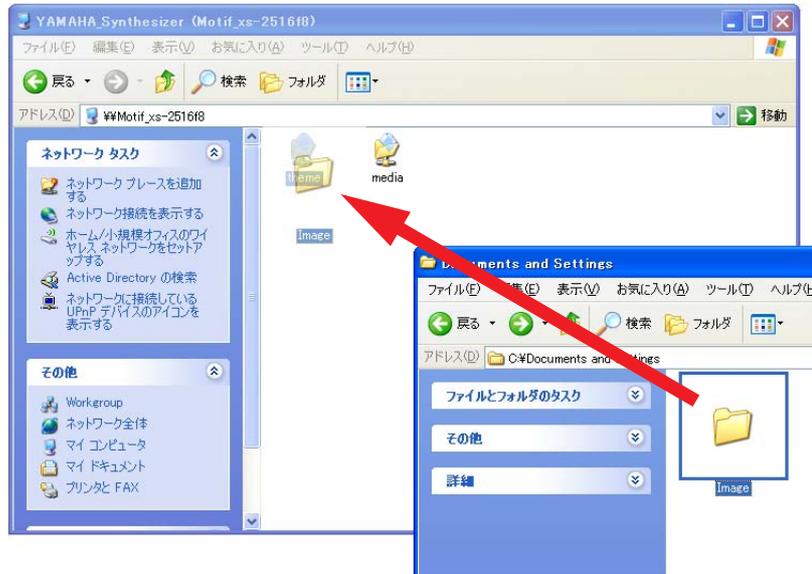
NOTE 上記の方法でMOTIF XSにアクセスできない場合は、MOTIF XSに設定されているホストネーム(「Host Name」)を直接アドレスとして入力してアクセスすることもできます。前述のMac OS Xの「ホストネームを入力してMOTIF XSにアクセスする方法」をご覧ください。

画面テンプレートをMOTIF XS上にコピーする

1. ダウンロードしたzipファイルの解凍先にある、Typeフォルダのうち、使いたい画面テンプレートに該当する番号のフォルダをクリックします。

NOTE 各テンプレート番号の画面デザインについては、以下のURLをご覧ください。
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/p/synth/motifxs/>

2. 「Image」フォルダをMOTIF XSの「theme」フォルダの中にコピーします。



NOTE 「このフォルダには既に 'Image' フォルダが存在します。」というメッセージが表示されたら「すべて上書き」をクリックします。

3. MOTIF XSを再起動します。

MOTIF XSの画面がコピーした画面テンプレートのデザインに変更されます。

NOTE 再起動せずにMOTIF XSを操作すると、部分的に画面テンプレートが反映される場合もありますが、全てのテンプレートデータを反映させるために、MOTIF XSを再起動してください。

画面デザインを元に戻す

画面テンプレートを使って、MOTIF XSの画面デザインを変更したあと、元の画面デザインに戻りたい場合は、以下の手順を行なってください。

1. 「ネットワークの設定」の手順に従って、コンピューター上にMOTIF XSの「theme」フォルダを表示させます。
2. 「theme」フォルダの中にある「Image」フォルダを削除します。

⚠ 注意

この操作により、変更していたMOTIF XSの画面デザインのデータは消えてしまいます。必要に応じて、「Image」フォルダのコピーをバックアップとしてコンピューターなどに保存しておきましょう。



3. MOTIF XSを再起動します。

元の画面デザインに戻ります。

上記の手順以外に、ファクトリーセットを実行することでも元の画面デザインに戻すことができます。ファクトリーセットを実行するには、[UTILITY]ボタンを押したあと、[JOB]ボタンを押します。ファクトリーセットの手順について詳しくは、MOTIF XS6/7/8取扱説明書の22ページをご覧ください。

USBフラッシュメモリーを利用する方法

専用の画面テンプレートファイルを使って、USBフラッシュメモリーをMOTIF XSに接続することでも、MOTIF XSの画面デザインを変更できます。以下の手順に従って、画面デザインを変更してみましょう。

NOTE 以下の設定をする前に、MOTIF XSをV1.50以降にバージョンアップしておいてください。バージョンアップについて詳しくは、以下のURLをご覧ください。

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/dl/synth/motifxs/>

1. あらかじめWebからダウンロードしたUSBフラッシュメモリー用の画面テンプレートファイル(8E540S_.PGM)をUSBフラッシュメモリーにコピーします。
 2. MOTIF XSの電源を切り、USB TO DEVICE端子にUSBフラッシュメモリーを接続します。
 3. [UTILITY]ボタンとカーソル[\leftarrow]ボタンを同時に押しながら、POWERスイッチをオンにします。画面上部にMOTIF XSのロゴが表示されるまで、[UTILITY]ボタンとカーソル[\leftarrow]ボタンを押しただままにしておきます。
MOTIF XS上に画面テンプレートを選択する画面が表示されます。
 4. カーソル[\leftarrow]/[\rightarrow]ボタンで画面テンプレートを選択します。
 5. 「PRESS [ENTER] TO SELECT」と表示されたら、[ENTER]ボタンを押します。
選択した画面テンプレートへの書き換えが開始されます。
-  **注意**
「Please keep power on」と表示されている間は、絶対にMOTIF XSの電源を切らないでください。次に電源を入れたときに正常に起動しなくなるおそれがあります。
6. 「Please turn off」と表示されたら、MOTIF XSを再起動します。
MOTIF XSの画面が選択した画面テンプレートのデザインに変更されます。

画面テンプレートのご利用制限について

MOTIF XSでは、画面テンプレートを編集するなどして、オリジナルの画面デザインにも変更できます。ただし、1つの画像ファイルのデータ容量が8KB (キロバイト)以内であり、ファイル名が既存の画面テンプレートの該当ファイルと同じでないご利用いただけません。
